

## 2009年「食品表示検定・中級試験」団体受賞者の声

### 第1位

団体名	生活協同組合 コープさっぽろ
中級試験合格者数	43名
団体からのコメント	<p>当組合では、メーカー様・ベンダー様に加工食品の原材料等の情報を電子カルテ（アルカナム）にて申告をお願いしています。この情報を元に「一括表示に齟齬はないか」「コープさっぽろの食品添加物自主基準に適合しているか」などを専門スタッフが確認の上、販売しています。現在、電子カルテには約6万件の情報があり、日々追加更新されています。</p> <p>これらのチェックを確実に実行するには、品質管理室のカルテチームに籍を置く専門スタッフをはじめ、商品部のバイヤーも食品表示に対する相応の知識と高い意識を持つ必要があります。今回、食品表示検定の資格取得を目指すことで、食品表示の知識を体系的・効果的に得ることができると考え、品質管理室および商品部メンバーを中心に受験を進めました。受験対策としては、品質管理部門のスタッフが講師となって学習会を実施しました。“資格取得”という具体的な目標できたことで学習の意欲が高まりましたし、学習会で使用した検定テキストは様々な食品表示の知識取得に大変役立ちました。</p> <p>今回の検定合格者には、それぞれ各自の職務に生かすことだけでなく、部署ごとの表示学習を進める際のリーダーとしても期待しています。</p> <p>なお店舗生鮮品や店内加工品のインストアラベル表示やPOP表示を正しく行うことも重要です。店舗のメンバーを中心に初級試験に取り組む予定です。今後は表示検定資格取得を、部門や役職等の階層教育とリンクさせることも検討しています。</p>
団体情報	<p>生活協同組合 コープさっぽろ</p> <p>事業概要：食料品・日用品を中心とした小売業（北海道内 99 店舗、宅配 30 センター）</p> <p>本社所在地：札幌市西区発寒 11 条 5 丁目 10 番 1 号</p>

第 2 位

団体名	生活協同組合連合会 東海コープ事業連合
中級試験合格者数	26 名
団体からのコメント	<p>食品表示の法律は、職員が業務を適切に行うために必須の知識ですから、その学習と教育は進めているところですが、今回の受験はそれを確実にし、結果を検証するのに適切な方法ではないかと考え、活用させていただきました。実際に合格した職員からも、「担当するカテゴリーに必要な、断片的な知識しか持っていなかったのが、受験にあたりテキストの頭から最後まで勉強したことで、食品表示の全体像をつかむことができた」、「品質管理に関わる仕事をする中で、食品表示を学習する良いきっかけになった。認定テキストは私のような初心者が学習するのにちょうど良い内容であり、興味深く学習できた」「食品表示に関わって幅広く理解を深めることができ、業務にも活かすことができている」という意見が出ています。中には、残念ながら不合格だった者もおりますが、彼らにはフォロー研修を行い、誤りを正す学習をすすめています。</p> <p>また当会では、ISO9001 の QMS を活用し、適切な商品案内や表示商品の供給に努めています。具体的には『東海コープ』の基準を設け、法律の改定を監視しその内容取り込んでおり、これらを基に、表示のチェックや PB 商品の管理を行っています。今後はこの検定を、当会の ISO9001 の教育訓練計画に位置付ける方向で検討しており、2010 年度の受験者についても、取得者はさらに上位の受験や、不合格者の再受験などを促したいと考えています。</p>
団体情報	<p>生活協同組合連合会 東海コープ事業連合</p> <p>事業概要：生活協同組合連合会（卸売り業）</p> <p>本社所在地：愛知県名古屋市長高上社字井堀 25-1</p>

第3位

団体名	日本製粉株式会社
中級試験合格者数	23名
団体からのコメント	<p>受験にあたり、商品規格書等の作成に携わる開発担当者に受験希望を募り、団体に申し込みました。食品全般の表示に関する法律及び表示方法の正しい理解と、開発担当の知識レベルの向上を目的として、また自分たちのレベルを知りたいという意図もあって試験に臨みましたが、今回の受験は、商品開発で扱う原材料に加え、専門分野以外の食品の表示ルールを学ぶ上で良い機会でした。</p> <p>開発担当は、原材料選定にあたりメーカーから提示される原材料規格書をチェックできる能力が要求されます。原材料メーカーへの問い合わせひとつとっても、幅広い食品について夫々の食品表示に関する法律を知っておくことが重要であります。1原材料に複数の法律が関連している等、表示方法で知っておくべき基本的な知識を見直す機会を得たことは有意義であり、今後大いに活用していくことができると考えます。</p> <p>当社では常々、食品表示の関連情報やセミナー・受講内容について、関係部署間でスピーディに情報を発信し合い、共有化を図っております。表示に関し、全員が同じ高いレベルになることを目標としていますが、今回の試験に際し、第1回目ということもあって受験者同士で模擬問題を作成して対策を練ったり、また試験後も出題内容や疑問点について討議するなど一連の取り組みを通して、表示への関心やスキルが高まってきていると感じます。</p> <p>引き続き、食品表示に関する高い知識を持つ部署になるためのツール(ステップ)として、開発担当の他、表示に関連する部署にも広く希望者を募る予定ですが、当初の目標である中級合格に留まらず、更なる知識を持つため上級へのチャレンジも検討して参ります。</p>
団体情報	<p>日本製粉株式会社</p> <p>業務概要：食品製造業（製粉、加工食品、その他）</p> <p>本社所在地：東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-27-5</p>

第4位

団体名	株式会社ショクリュー
中級試験合格者数	19名
団体からのコメント	<p>当社では、将来的に水産物から一步踏み出し、食品全般の流通サービス業を実現したいと考えております。お客様に安全・安心と満足をご提供し、社会貢献を通じて企業価値の最大化を図りながら、業界ナンバーワン企業を目指すため、また「日々高まる消費者の食の安全と安心への関心」と「食品を取り扱う企業としての責任」から、流通過程の、正しい“表示伝達”は重要なファクターであると位置付け、表示及び法律の正しい理解とレベルアップを目的として団体で受験しました。いずれこの取り組みがお客様に評価され、それが営業活動に結び付くと考えております。</p> <p>これまでも毎月1回程度、社員研修として「食品の表示について」「食品の安全に関して」などの講習を、関係行政官庁等の協力を得ながら実施しており、これまでに全社員の50%超が受講しております。また、社内イントラ上で品質管理室による「表示に関する情報」「関連法の情報」を発信しており、今回の受賞によって、社員の食品表示に対する意識が、さらに高まり加速したと感じています。</p> <p>今後も毎年度、社員の受験を予定しております。今回は品質管理部門を中心に、一部営業部門が受験いたしましたが、2010年度より新入社員も含め実施致します。また、中級合格者は2011年度に開催される上級試験にも是非挑戦してもらいたいと考えています。</p>
団体情報	<p>株式会社ショクリュー</p> <p>事業概要：主として国内産・生鮮及び冷凍魚介類、加工品、輸入海老魚介類の卸売</p> <p>本社所在地：大阪府大阪市中央区本町2丁目1-6 堺筋本町センタービル4F</p>

第 5 位

団体名	株式会社 日京クリエイト
中級試験合格者数	15 名
団体からのコメント	<p>昨今、食品の不祥事が社会的に大きな問題となっており、その発生源は従来食品メーカー中心でありましたが、最近では外食産業においても散見されるようになってきました。</p> <p>当社のフードサービス事業においては、食品メーカーや小売業・卸売業とは異なり、食品表示が業務に直結する度合いは比較的低いのですが、事業所給食や福祉施設での給食において、『メニュー名と使用食材の一致』は、コンプライアンス上重要な課題と考えております。</p> <p>当社はこれまでも、「メニュー名適正表示に関するテキスト」を作成し研修を行い、また、メニュー名と使用食材の不一致を起こさないために独自に開発した「給食管理システム」でのチェックや、全ての施設における自主監査なども行ってまいりました。こうした中で、さらに徹底を図るためには、“食品表示の考え方や知識は有用である”と考え、食材全般における表示の基礎知識を習得する目的で、メニューを作成する栄養士や食材調達のバイヤー等を中心に、団体受験をいたしました。</p> <p>この受験を通し、「表示」に関するコンプライアンスの重要性を各人が認識するとともに、食品表示の基本的な考え方や実務の詳細について知識を習得することができました。今回一定数の中級食品表示診断士の有資格者を得ましたので、今後はその知識を当社の具体的な実務へ展開させるとともに、今後の受験についても検討していきます。</p>
団体情報	<p>株式会社 日京クリエイト</p> <p>事業概要：フードサービス事業</p> <p>本社所在地：東京都品川区南大井 6 丁目 16 番 19 号</p>